

■農地利用最適化推進委員(最終公表:3月3日締切)

【一般応募】

※当該公表事項は、申込書に記載された内容について整理し公表するものであり、長崎市農業委員会において事実確認を行っているものではありません。

応募者

受付順	氏名	性別	年齢(歳)	職業	経歴		農業経営の状況		応募する区域	農業委員への応募	応募理由
					期間	事項	営農類型	耕作面積(a)			
1	上戸 好美	男	69	農業	昭和57年4月～平成30年3月 平成31年4月～令和元年3月 令和元年4月～令和3年3月 平成元年9月～現在 平成11年3月～現在 令和5年9月～令和8年9月	三菱重工業 MHIソルテック 国立佐世保高専機械科講師 中小企業庁119活動 日本技術士事務所活動 長崎市猟友会所属	野菜(イモ類)、 果樹(ピワ類)	10	旧長崎 東長崎	無	(1) 農業委員会活動への意気込み 国や県、市のスマート農業やそのための農地の粗大化登録などしているが、中々農地の最適化が進まない。実態の改善要望など含め、最適化の申請など提案していきたいので応募した。山間部との境界の放棄土地多く、道路拡大による農地利用のスマート化や熊、イノシシ、サル、アナグマ、シカなどの有害駆除作業なくとも生産性の高い土地の実現を行うべきと考えている。 (2) 地域農業、地域活動の実績 特色ある地域活動や農業は道の駅など野菜ほかダイレクト販売や伝統野菜ほか、特色ある農産品の生産と販売など頭を使った、効率の良い生産や販売が必要。 ①ところが実態は例えば米価はこれまで安価なコメからブランド米までそろっていたのになんでもかんでも、一応に2倍の米価にしてしまい、消費者から総すかん食っている。 ②契約農地をお客様消費者と事前に契約する方式はどうか？昔はサラリーマンが兼業農家として農業生産活動していたのが、きつい、儲からないとして耕作空き地にしてしまっている。農業委員会はこの事情を知っておれば、空き地をやる気ある農業者にあっせんアンケートして耕作放棄をなくし、地域で学校教育や地域の祭り活動に有効活用する地域委員会をつくってはどうか。代表地域農地を選び地域の代表耕作者と代表耕作方法の提案をSNS発信しながらすすめては？ ③また、自由な発想で短期間、土地活用できるような企画提案を長崎市ほかの地域利用活用農地計画として毎年募集集約していくのがよい。
2	永川 俊太郎	男	75	農業	昭和45年4月～令和7年8月 平成23年3月 平成27年10月～現在	電気工事(自営) 農業ヘルパー研修会修了 就農	野菜、花き	445	茂木	無	今から時代も替わっていくし、大手会社も野菜を作っていく時代です(水耕栽培)。それなり勉強して大手にまけない物を作る地域の活性化したいと思います。まず、土壌の問題、病害虫、肥料、水などで作物もだめになるので、注意してやりたいです。農業もいづらか活性するのでないかと思えます。また、野菜もプランター、袋栽培なども、簡単に作物もできる(葉物、根菜)小松菜、ダイコン、ごぼうなどです。